

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	地域福祉の向上には欠くことが出来ない行政機関との連携や協働の取り組みを、今後、更に深める。	市行政担当職員と日常的に連携が取れ、地域で期待される施設機能が果たせる。	引き続き各種インシデント記録、業務実績、待機者情報等市行政担当職員を中心に適宜報告、課題の共有から多角的な検証を実施し早期解決に導く。	6 か月
2	26	ケアプランの内容を十分に理解頂ける様、ご家族への説明の方法や、ご本人の心身常態に応じた見直しへの取り組みを更に深める。	ご利用者の体調や精神的変化を速やかに周知し、安心して日常生活を送っていただくため、ご家族や関係者との協力体制をとることができる。	引き続き「SOPU」を用いた記録等を情報源としたアセスメント作業を深め、ご本人・ご家族・担当職員等との会議で更に情報を共有し、より良い日常生活に即したケアプラン立案を目指す。	6 か月
3	35	災害時に地域の人や職員の駆けつけ方法や、行動パターン等を関係者で共有し、地域内の行政等にも情報を広げ、災害時に関する学習の機会を設けるなどの取り組みを築く。	災害時に昼夜問わずご利用者が非難できる方法を、全職員が身につけるとともに地域の人や、行政との協力体制が取れる。	引き続き併設施設との協働の元、消防署指導の総合防災訓練を年2回実施するとともに、今後も毎月各ユニットごとの防災・災害訓練を実施し施設内の万全な体制を構築する。また、地元消防団をはじめ、地域との連携体制を構築する。	6 か月
4	36	ご本人のプライバシーの尊重はもちろん、ご家族のプライバシーを損ねない言葉かけや対応の配慮を更に深める。	言葉の重みについて責任を持っていくことがご利用者、ご家族との信頼関係に繋がり、安心して施設生活を送っていただける。	毎日のミーティングなどで、プライバシーへの配慮について、学び、話し合い、言葉の重みについて意識の共有化を図っていく。	6 か月
5					か月

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。